

那珂川アユ漁獲量調査(1)(平成26年度)

釣れ・獲れ具合，出漁日数および出漁者数

誌名	栃木県水産試験場研究報告
ISSN	13408585
著者名	石川,孝典 網川,孝俊
発行元	栃木県水産試験場
巻/号	59号
巻号補足	
掲載ページ	p. 26-27
発行年月	2016年2月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター

Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



那珂川アユ漁獲量調査1（平成26年度）

一釣れ・獲れ具合，出漁日数および出漁者数一

石川孝典・網川孝俊

目 的

那珂川のアユ資源を持続的に活用するためには，漁獲の動向を把握した上で適正な漁場運営を行うことが必要である。そこで今年度も引き続き，当県内の那珂川におけるアユの漁獲状況に関する情報を収集した。

材料および方法

友釣りによる漁獲状況 栃木県那珂川漁業協同組合連合会会員4漁協に対し，調査票150枚を前年度の賦課金納入者数の割合に応じ配布した。各漁協がそれぞれ選定した調査員に対し6月1日の釣り解禁から11月10日までの間，釣行日の釣獲地区（本流7地区および4支流の計11区域；図1）および釣獲尾数（釣果なしも含む）の記録を依頼した。無記入の調査票は，出漁日数を0として扱った。回答率は83.3%であった。

投網による漁獲状況 釣りと同様の方法で調査票50枚を配布し，漁獲重量の調査を行った（投網は7月10日から区間毎に順次解禁される）。回答率は86.0%であった。



図1 那珂川における釣獲地区の区分

結果および考察

釣れ具合・獲れ具合 釣れ具合は14.5尾/人/日で，前年（5.7尾/人/日）の約2.5倍，平年（9.7尾/人/日）の約1.5倍で，調査開始以来の最高値となった（図2）。地区別では，解禁日に小川地区及び武茂川で漁場全体の平均より10尾

以上多く釣獲された（図3）。漁期全体を通して見ると，寒井，黒羽及び茂木地区が漁場全体の値を上回っていた（図3）。月別でも釣れ具合は漁期を通して平年の約1.4～1.7倍の水準で推移した（図4）。この理由として，前掲の研究課題で述べたとおり，今年度の那珂川における天然アユの遡上が好調であったことが考えられた。

投網による獲れ具合は2.5kg/人/日で，前年（1.9kg/人/日）の約1.3倍と増加し，平年（2.8kg/人/日）の約90%で，平年よりやや低水準であった（図2）。

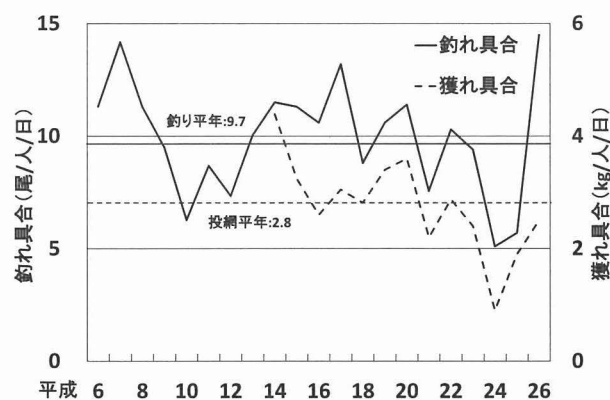


図2 釣れ具合および獲れ具合の推移

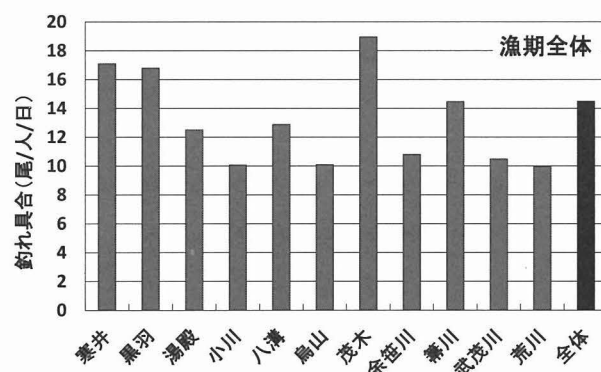
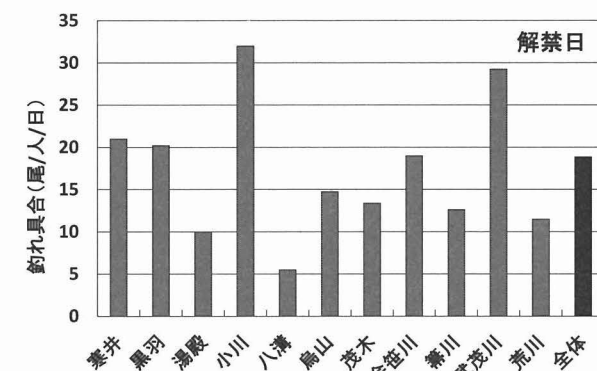


図3 地区別の釣れ具合

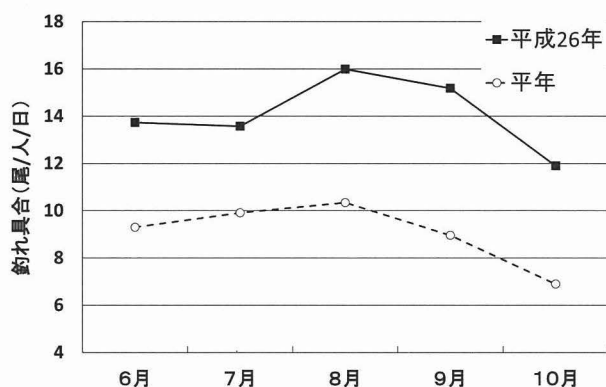


図4 釣れ具合の月別推移

出漁日数 釣りの出漁日数は23.2日/人で、前年(17.3日/人)の約1.3倍、平年(21.0日/人)の約1.1倍で、釣れ具合が好調だったため釣り人出漁日数が増加したものと考えられる(図5)。一方、投網の出漁日数は4.9日/人で、前年(8.3日/人)の約60%、平年(11.6日/人)の約40%で、釣りとは異なり獲れ具合が改善されたにもかかわらず出漁日数が減少した(図5)。

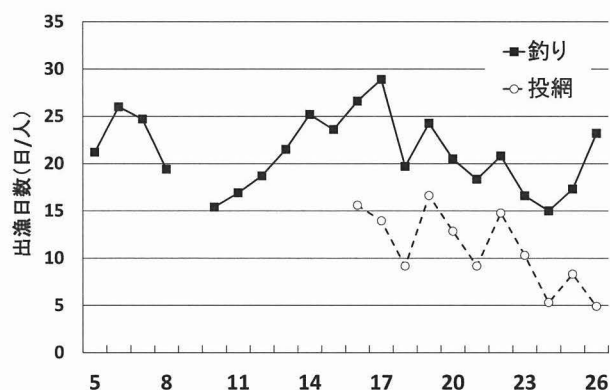


図5 釣り及び投網の出漁日数の推移

釣獲尾数・漁獲量 釣獲尾数は387.4万尾で前年(106.4万尾)の約3.7倍、平年(425万尾)の91%であった(図6)。釣獲量は201.3tで、前年(91.7t)の約2.2倍、平年(216t)の93%であった。地区別では、本流の寒井および黒羽地区、箒川で全体の釣獲量の約60%を占めていた(図7)。投網による漁獲重量は29.1tで、前年(35t)の83%、平年(102t)の29%と極めて低水準であった。

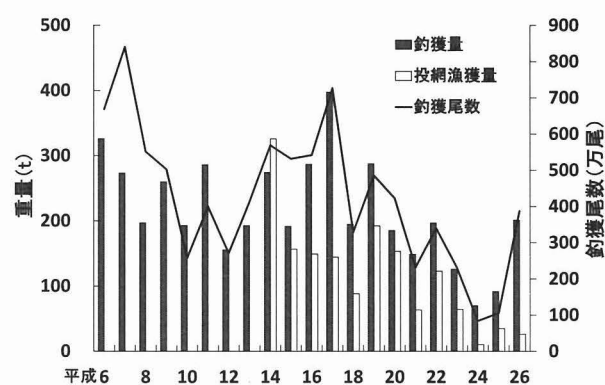


図6 釣獲尾数・釣獲量および投網による漁獲量の推移

図7 区域別の釣獲量

出漁者数 釣りの出漁者数は26.1万人で前年(19.5万人)の約1.3倍に増加したが、平年(42万人)の約62%にとどまり、引き続き低い水準であった(図8)。投網の出漁者数は1.1万人で、前年(1.8万人)の61%にとどまり、平年(3.6万人)より2.5万人少なく、3年続けて低い水準であった(図8)。

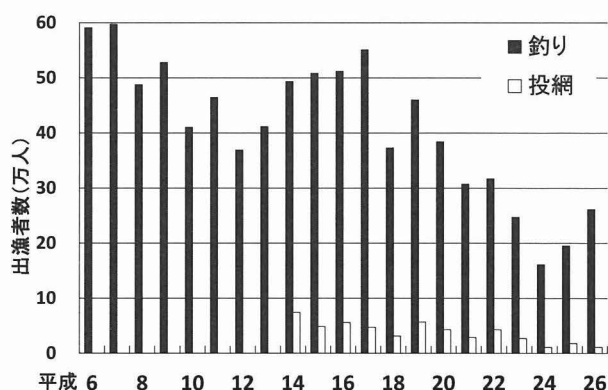


図8 釣りおよび投網の出漁者数の推移

引用文献

- 1) 吉田豊. 栃木県那珂川におけるアユの生産力. 環境調和型アユ増殖手法開発事業報告書 2007; 72-82.

(指導環境室)

調査試験報告要旨

那珂川アユ漁獲量調査 1ー釣れ・獲れ具合，出漁日数および出漁者数ー（p26-27）

平成 26 年度の那珂川のアユ漁獲状況を調査しました。釣れ具合は 14.5 尾/人/日で，前年の約 2.5 倍，平年の約 1.5 倍で，調査開始以来の最高値となりました。投網による獲れ具合は 2.5kg/人/日で，前年の約 1.3 倍，平年の約 9 割でした。釣りの出漁日数は 23.2 日/人で，前年の約 1.3 倍，平年の約 1.1 倍で，釣れ具合が好調であったため出漁日数が増加したようです。一方で，釣りの出漁者数は 26.1 万人で前年の約 1.3 倍でしたが，平年の約 6 割にとどまり、引き続き低い水準でした。